

川端会議（北山公園整備計画等意見交換会）の報告

2024/02/12

■川端会議の報告

- ・日時 2024年2月10日（土）10時～12時
- ・場所 市民センター第6会議室
- ・参加者 かつぱの会（N、S）、三輪車（3名）、birth（Tさん）、市議員（Kさん）
市役所（みどりと公園課；課長、補佐（公園係）、みどりの係長、Sさん、道路河川課；課長）、アメニス東村山市立公園グループ（Kさん、Kさん）、グラッグ（Nさん、他1名）

北山公園施設改修基本設計について

9月の意見交換を踏まえ、基本設計内容について意欲的な提案があった。以下、主な内容について、意見交換の内容も含めて記載。

- ・9月の川端会議での意見交換を踏まえ、菖蒲田内の池（あずまや周りの池、他3箇所）を
通年で水のある設計としていく案の提示があった（北川から通年で水を引く）
- ・上記に関連し、来年度、北川の取水ポンプと制御盤を更新する予算が確保されていると
いう説明があった（3月の市議会で承認されれば、9月以降更新予定とのこと）
- ・しょうちゃん池については、水際に浅場をつくり水生植物が生育できる環境の整備案の提
示があったが、かつぱの会より八国山二ツ池等の土を入れて埋土種子の発芽に期待した
草本の導入について提案を行った。また、現在繁殖しているハス（容器に植栽）やヨシの
範囲をコントロール（冬期の刈り取りや水際の高さを確保）する提案があったが、そも
そもハスはいらぬのではないか、奥の湿地に水が流れるようにすべきではないか、など
の意見が出た。なお、しょうちゃん池のかいぼりは、施工が始まる2025年度となる見込み
とのこと。
- ・水路の設計について、西武園線沿いの梅林より東側の水路（通年で水が流れる）につい
ては、子どもが水路に入り、水遊びや生きものとのふれあいができる空間としていく案の提
示があった。一方、梅林から西側の田んぼの中を通る水路については、万全の漏水対策を
取っていくためにPC製の水路（カエル等がのぼりやすい構造、植物が付着しやすい構造
など）の提案があったが、景観上の問題などから、詳細については来年度の実施設計の中
で再検討していく方向となった。
- ・梅林近くの現湿地に隣接して菖蒲田（通年湛水）を新設する案の提示があったが、かつぱ
の会から多様な生息環境を保全していくために（湿った）草地にすべきではないかと提案
した結果、来年度の実施設計で詳細を詰めていく方向となった。
- ・9月の川端会議での議論を踏まえ、北川で継続的に魚とりなどができるようにするため

に、善行橋周辺の北川で魚とりなどが継続できるよう、来年度の草刈り作業（善行橋周辺は未実施）の前に現地ディスカッションしていく旨の提案があった。

外来種防除事業についてかっぱの会より説明

- ・添付の「北山公園での外来生物の防除活動について」参照（添付省略）

道路河川課からの説明

- ・道路の安全確保のため、多摩湖町1丁目34番地先（元大野鮮魚店があった場所のはす向かい）の高木と竹伐採について提案があった
- ・北山小正門近くのヤナギ（幹が空洞化していて危険）について伐採予定である旨の説明があった（現在、地元町内会で回覧中）